

14. 腎がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	泌尿器科	4	3	状況	○	○	×	○	○	可能な限り部分切除術で腎温存に努めている。	ア	泌尿器科 http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinyouka/hinyoukika/index.html	掲載なし	掲載あり	掲載あり
				実績	あり	あり	なし	なし	なし		なし	イ	http://		
2	放射線科	4	1	状況	×	×	×	×	×	合併症等のため手術不可の場合、定位照射も考慮しています。	ア	放射線科 http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinyouka/housyasenka/index.html	掲載なし	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし	なし	なし	なし		なし	イ	http://		
3				状況							ア	http://			
				実績								イ	http://		
4				状況							ア	http://			
				実績								イ	http://		
5				状況							ア	http://			
				実績								イ	http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん
------------------------------------	---------